

皆様、こんにちは。

本日は、皆様に出席頂き、勲章伝達式を開催できることを大変嬉しく思います。

さて、本日、お二人の方に勲章を伝達できることを光栄に思います。ブラジルにおける日本語教育及び日本ブラジル間学术交流及び日本文化普及に寄与したアリセ・タミエ・ジョウコウ氏に「旭日小綬章」を、ブラジルにおける日本文化の普及及び日系人の地位向上に寄与したクニヨシ・タカキ・ヤスナガ氏に「旭日双光章」を、それぞれ授与することが決定されましたので、ここに伝達させていただきます。

お二人については、皆様の方が良く御存じなので、私からはごく手短にそれぞれの御功績を紹介致します。

アリセ・タミエ・ジョウコウ准教授は、サンパウロ州立大学日本文化研究所や、日本語教育機関「みどり学園」、ブラジリア大学における日本語教育に従事し、ブラジルにおける日本語教育の推進に貢献しました。当地では CIL と呼ばれる中等教育機関でも日本語が導入され、学習者数も拡大していますが、舞台裏で同教授のひとかたならぬ御尽力があったと伺っています。また、「全ブラジル日本語・日本文学・日本文化学会」を2000年と2005年の二度に亘りブラジリア大学が主催した際、ブラジルのみならず日本や米国など多くの参加者を募って、盛大且つ成功裏に実施し、同学会の発展と日伯の学术交流の推進にも大きく貢献されました。いつも笑顔にあふれ周囲への思いやりを忘れない同教授のお人柄が、このような業績を上げられる上で重要な要素であったと思います。「旭日小綬章」の授与、おめでとうございます！

クニヨシ・タカキ・ヤスナガ氏は、ブラジル中西部日伯協会連合会会長として、ブラジルにおける日本文化の普及及び日系人の地位向上に寄与しました。ヤスナガ氏は、ブラジリア連邦区において日本文化紹介を目的に「日本祭り」を初めて企画し、関係者の協力を得ながら実施しました。当時、大規模な日本祭りは、当地において過去に例がなかったことから、当地プレスでも大きく報道され、ブラジリアの活性化に貢献したとして、ブラジリア市名誉市民章を受章されました。今年5月に開催された、第五回目の日本祭りは、入場者が5万人を超えるなど、ブラジリアの代表的行事になっています。週末を含め自ら率先して汗を流しながらボランティアとして働くヤスナガ氏の姿は、大変気さくで、何事にも相談にのる親しみやすい人格と併せ、多くの若者をも魅了してお

り、極めて人望の厚いリーダーです。「旭日双光章」の授与、おめでとうございます！

改めて、お二人の御功績に敬意を表すると共に、今後とも益々の御健勝をお祈り致します。また、この機会に、御家族、友人をはじめ、お二人を支え、協力してこられた関係者の皆様に感謝するとともに、お祝い申し上げます。

(了)